

「1788通りの処方せん」に向けた町の取り組みについて



質問者
石内 浩 議員

人口の一極集中が続く中で、日本経済は減速が続く。今の経済成長モデルでは限界とされる中で、今こそ地方が元気で活力を創り出す大きな手

① 現在の活性化事業で成果を上げているのは民間企業が殆ど、民間の活力をどう利用しどう取り入れるのか。

② 「1788通り（都道府県と市町村の数）の処方せんを寄せ」に対し、従来の積み重ねが生かされるとは限らない。

③ 人口減・生産人口確保が最終、最大の目的となるとして、例えば「空き家対策」の現状と将来形を早急に明確化すべきだが、その方策と実行予定は。



朝の新松田駅南口

① 松田の元気を取り戻し、さらに活力を生むチャンスと捉え、民間業者や町民の協力等を得て、地方創生に積極的に取り組みたい。

A

松田版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する
回答（町長）

方面からのメンバーによる審議会を組織し、役場内の横断的組織も立ち上げる。

③ 町では、空き家対策として「空き家バンク」制度があるが、さらに周知方法や持ち主等との連携に努める。調査結果では、空き家51件、空き地11件、空き店舗10件があった。今後「空き家バンク」への登録増加と、移住希望者等への情報発信を進める。

また、住宅政策として、子育て世代の方や宅建協会、大学などと意見を交換し、生産年齢人口確保につなげる。

① 平成26年10月1日付で組織の改編が行われ、「政策推進課定住少子化担当室」が発足しま

定住化促進及び少子化対策の今後の取り組みは



質問者
飯田 一 議員

① 平成26年10月1日付で組織の改編が行われ、「政策推進課定住少子化担当室」が発足しま

した。人口減少が厳しいなか、町民としては非常に期待が大きいものがあります。今後の定住少子化担当室の取り組みについてお伺いします。

② 国の方では、地方版総合戦略（各地方公共団体の2015年〜2019年の5ヶ年の政策目標・施策）として、「切れ目のない施策の展開を行う」としている。松田町での少子化対策の取り組みとして、平成27年度予算への反映はされていますか、お伺いします。

A

教育に力を入れ人材育成に努める
回答（町長）

① 定住少子化対策の取り組みを総合的に進行管理し、その事業の費用対効果を検証しながら、無駄な支出や必要性の高い事業を把握し、定住少子化対策によるまちづくりや、自主財源確保を行う。

二つ目は「空き家バンク制度」の充実と拡充。三つ目は、自然環境や様々な定住・少子化・子育て・高齢者支援などの事業を、積極的に町内外に発信していく。教育を通して人材育成・子育てに投資をしたい。

② 平成27年度予算に反映した新規事業「縁結びサポート事業」という名称で、若い世代の出会いの場づくりを推進する。「ふるさとまつだ同窓会支援事業」、「二世帯同居等支援制度」の奨励金交付など、切れ目のない様々な施策を展開していく。

